



第2回学校運営協議会 コミュニティスクール

9月11日(金)に行いました学習参観ではお忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただき心より感謝申し上げます。子供たちは保護者の皆様の温かなまなざしに包まれ、いつも以上に張り切って授業に臨む姿がみられました。保護者の皆様に見守られることで、子供たちの表情には誇らしさや喜びがあふれ、学びに向かう意欲が一段と高まっているように感じました。



さて、本校はコミュニティ・スクールです。コミュニティ・スクールとは、学校、保護者、地域の方と知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら児童生徒の成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティ・スクールでは、地域の方、保護者、学校教員でつくる「学校運営協議会」を設置しています。



9月11日の学習参観後に本校において第2回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会では1学期末に行った「アクションプラン(重点目標を達成するための行動目標)」や「学校評価」の結果を基に意見交換を行いました。

○アクションプラン1 (AP1) よく考え、自ら学ぶ子供

「相手を意識して自分の考えを表現し伝える」

○アクションプラン2 (AP2) 思いやる子供

「相手に伝わる挨拶をする」

学校運営協議会の委員からは、AP1について「『聞くこと』と『話すこと』の重点を明確にするとよい」「クラスの子供全員が発表できるような機会があるとよい」「子供に話を合いを進行する経験をさせたらよいのでは」などの意見をいただきました。AP2については「地域から比美乃江小の子供たちの挨拶が上手になったと聞いている」「子供が挨拶だけでなく『ありがとう』と言えるようになった」

「集団登校等のグループ単位で挨拶の意欲を高めるのもよい」などの意見をいただきました。学校評価については、「アンケートの実施により子供や保護者が家庭での関わりを振り返る機会になる」「先生方へのアンケートもあってもよいのではないか」「学校だけで終わらず、家庭と地域が協力をして子供たちの成長を支えていくことが大切である」など意見をいただきました。加えて「今回の大雨災害を踏まえ、日頃から災害への備えやいざというときの心構えを子供に身に付けさせることが重要である」との意見をいただきました。学校では、今回の学校運営協議会の意見を参考に今後ますます学校、家庭、地域が力を合わせて子供たちを指導、支援していきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。